

1 ■101■ 証拠能力の意義

2 ◎裁判は証拠に基づいてなされるものだが、当事者が「この資料を証拠として見てくれ」  
3 とさえ言えば裁判所は何でも見てくれるわけではない。一定の要件が必要だ。これから  
4 数回にわたり、証拠能力の基本知識をおさえていこう。

5 ◎まずは、317の証拠裁判主義。317条の「証拠」は縮小解釈されている。

6 \*どのように解釈(定義)されている？

7

8 ( ) 能力が認められる証拠

9

10 \*証拠能力の定義は？

11

12 ( ) で ( ) (証拠調) をなしうる資格

13

14 \*証拠能力のエリアは、大別して3つに分かれている。

15

16 ・何と何と何？

17

18 ① ( ) 的関連性があること

19

20 →定義：

21

22 ② ( ) 的関連性があること

23

24 →定義：

25

26

27 ■102■ 自然的関連性

28 ◎それでは、3つのエリアの基本を順番に見ていこう。

29 ◎まずは、「自然的関連性があること」について。

30

31 \*自然的関連性の定義は？

32

33 \*自然的関連性が鋭く争われる領域が1つある。どのような証拠の場合？

34

35 ( ) 的証拠

36

37 ・その証拠の許容性につき、アメリカの連邦最高裁が定立した規範は？

38

39 ( ) 基準

40

41 \*依拠する理論や方法が科学的に ( ) であること

42

43 および、当該理論や方法が ( ) に用いられたこと

44

45 ・それに対して日本の最高裁の判断傾向は？

46

47

48

49

49

- 最高裁判例によると、鑑定人の経験と勘に頼る非科学的なものであるため、筆跡鑑定に証拠能力は認められない。
- 最高裁判例によると、犬の嗅覚の性質が科学的に解明されていないため、犬の臭気選別結果に証拠能力は認められない。
- 最高裁判例によると、鑑定の技法が完成されているとはいえないため、DNA 鑑定(MCT118型鑑定)に証拠能力は認められない。

1 ■103■ 法律的関連性①：総論・悪性格立証

2 ◎次は、法律的関連性について。

3 \*悪性格立証とは何？

4  
5 ・悪性格立証には法律的関連性がある？

6  
7 \*類似事実立証とは何？

8  
9 ・同種前科立証に対する判例を確認しておこう。

10 \*一般的にはどのような場合？（最判平 24・9・27）

11  
12 \*被告人と犯人の同一性を証明するときはどんな場合？（最判平 24・9・27）

13  
14  
15 \*他にはどんな場合？（最決昭 41・11・22）

16  
17  
18 ●常習累犯窃盗罪のように前科が構成要件の一部を構成している場合や、常習賭博罪のよ  
19 うに構成要件としての常習性を認定する場合でなければ、被告人の同種前科をもって、  
20 犯罪事実を立証することは許されない。（司）

21  
22  
23 ■104■ 法律的関連性②：伝聞法則入門

24 ◎法律的関連性が問題となる領域のうち、明文規定があり、解釈・あてはめが争われるこ  
25 とが非常に多いのが、いわゆる伝聞証拠の取扱い。

26 \*事実を直接観察し記憶した者が法廷で証言するのと比較して、伝聞証拠にはどのよ  
27 うな問題がある？

28 ① 反対当事者が（ ）尋問できない

29  
30 ② 裁判官や裁判員が（ ）できない

31  
32 ③（ ）していないので（ ）の対象にならない

33  
34 \*伝聞法則の根拠条文は？

35  
36  
37 ■105■ 法律的関連性③：伝聞例外入門

38 ◎伝聞法則の問題は多岐にわたるので、詳しくは刑訴2で。ここでは検面調書の問題を大  
39 雑把に取り上げよう。

40 \*検面調書がどのようなプロセスを経て作成されるのか、よくおさえておこう。

41  
42  
43 \*そのうえで、321 I ②後の要件が緩いか否か、検討しておこう。

44